

洞合自然公園 整備検討委員会(令和5年度第7回 R6.2月開催)の議事概要

1. 実施設計段階での検討が必要な課題の確認

1月に実施した説明会の報告を行い、その際に出された質疑事項のうち、下記の内容を実施設計にて対応していくことを確認した。

NO	質疑事項	説明会当日の回答内容
4	拡張部分の工事において水の流れを変えるという計画だが、それに伴って拡張地北側の現状水路は撤去するのか。	既存の水路は残す予定だが、実施設計で変更となる可能性もある。
8	新しいトイレについては、既存のトイレから電線を引き込むという説明があったが、ソーラーパネルの設置は検討しないのか。電線を立てることになると景観を損なう。	既存のトイレからの電線は地下埋設を検討している。またソーラーパネルの場合、おがくず攪拌のための電力が一年間を通して全て賄えるかという問題もある。トイレについては実施設計の中でより具体的な仕様を検討していく事になる。
9	公園での待ち合わせに雨除けのために使用できる屋根のある場所が欲しい。新しいトイレのヒサシを伸ばすだけでもよいので検討してほしい。	施設の建設については確認申請の許可が必要のため、確認機関が判断するものとなり、この場では即答できない。実施設計時に可能かどうか確認する。
10	新しいトイレについて上流から水道を引き込むとあるが詳しく話を聞きたい。	公園北西の県道まで水道管が延長してきているので、そこから給水管を伸ばして新設トイレに接続したい。用途は手洗い。予算面や水圧面で可能かどうか検証し、可能であれば実施したい。

2. 基本設計資料内容に関する主な意見

基本設計の概要をとりまとめた資料を提示し、意見交換を行い、下記の点について実施設計の際に留意しながら作業を進めていくことを確認した。

(1) 植栽

○草地の管理

草地の管理が拡張整備区域のポイント。何気なく植えた樹木が繁茂してうっそうとした森になってしまう可能性もあるので、植え方については実施設計の段階で工夫が必要。

○生き物を呼び寄せる植栽、観察を促すしかけをもった植栽

食べ物があれば生き物がくるので、鳥にもきてもらえるというような部分も考えられるとよいのではないかと。ただし、現地はオオタカ、ハイタカ、ノスリ等の狩り

の空間でもあるので、その空間としての価値とのバランスには配慮したほうがよいと思う。先を見た作業が実施設計の中ではより求められてくる。

○ニセアカシアの管理

ニセアカシアについては他の様々な事例も参考にしながら、整備・管理での対応を検討していくことをお奨めしたい。(アルプス公園北側エリア等)

(2) トイレのレイアウト

○現在の案では、男子トイレが中央にあるが、女子トイレの方が混雑するので、多目的と女子トイレを近づけたほうがよいと思う。男子の小便器はなしでもよいのでは？

○児童を連れてきたりした経験を踏まえると、男子の小便器はあったほうがよい。女の子の方が用を足す時間が長く混雑しやすい。多目的、大便器女子用、もうひとつの大便器、男子小便器がある並びのほうがよい。男子の小便器は独立させておく形がよい。

3. その他意見

○学生(南農生)の今後の関与

→今後実施設計というステップに関わるのは、学生の経験や技能だけではなかなかおいつかない部分もあり、関与できるのは限られてくると思うが、看板製作や既存の公園の管理の方法の件とあたりで関われるのではないかと考えている。